

ロードスターは、楽しんでナンボのものだから、僕らも言ってみんなであつた方がいい。

その3 ユーザーの要望に沿った商品の開発

トライアルと言えば、アディダスとの協力によって、これまでに「走行会用レーシングスーツ」や「スーパーシューズ」など、ユーザーのニーズに合わせたさまざまな商品の提供を行ってきた。そして、その中の一番のヒット商品が、写真のスーパーシューズだ。

このスーパーシューズは、レーシングシューズの持つ機能性とタウンシューズに求められる快適性を両立させたもので、それがヒットの最も大きな要因となった。トライアルでは、今後もこうしたヒット商品の開発に力を注いでい

く意向だと言う。

そして、こうした新商品の開発に欠かせないのが「ユーザーの声」。つまり、キミの「こういうものがあつたら便利」とか「この商品のここを改良してくれたら、もっと使いやすくなる」と思う要望を、トライアル側にどんどん提案して欲しいのだ。それによって、キミの意見が反映された新商品がリリースされる可能性だってある。こうした用品以外にも、ロードスターに関する機能部品、エアロパーツに関する要望なども、もちろんオーケーだ。



その4 マッキー自ら走る楽しみをアピール



前号ロード&スターNo.2で報告しているように、牧原さんには本誌「スーパーロードスター・プロジェクト」にテストドライバーとして協力していただいた。これは、牧原さん自身がロードスターを徹底的に乗り込んでいて、その性格を十分に把握しているとの理由からだ。

つまり、トライアルからリリースされる商品には、「ロードスター乗り」としての牧原さんのこだわりが如実に反映されているというわけだ。その彼が今年、再

びロードスター・シーンを盛り上げようと考えている。

そして、そのために、牧原さん自身が自分でロードスターに乗る楽しさをアピールしていきたい、と言う。

さらに、牧原さんはロードスターについて、「もう一度原点に還るような感じで、自分で作って、乗って楽しみたい」と話す。その牧原さんが「楽しんだ」結果は、必ず製品として我々ユーザーにフィードバックされてくるはずだ。

その5 T1、鈴鹿で走行会を開催!



トライアルでは、これまで奇数月にT1サーキットで走行会を開催してきた。そして、「アディダス・カップ」として行われるその走行会では、協賛者であるアディダスから、参加者にさまざまなプレゼントが贈られる。この「アディダス・カップ」が、今年もトライアル主催で引き続き開催される。ただ、今年は阪神大震災の影響で1月と3月のイベントが中止になり、5月のT1サーキットから本格的に始動する予定だ。

さらに、昨年まではT1サーキットだけだった会場についても、今年は鈴鹿サーキットが新たに加えられる。これは、同じ「アディダス・カップ」として他の地域で行われている走行会のメンバーが、1年の締め括りとして10月に鈴鹿に集まって一緒に走るというもの。

したがって、今年の走行会は5月、7月、9月、11月がT1、そして10月は鈴鹿で行なわれ、それぞれアディダス・カップの名が冠せられることになる。

その6 1.8ℓで新たな方向性を模索

1.8ℓロードスター専用として、甲高い排気音が特徴の車検対応マフラー、そしてコンピュータ制御のスポーツ・インジェクションをリリースしたトライアル。そこで、そろそろ1.8ℓ用のエンジン・パーツのリリースが待ち遠しいところ。この1.8ℓ用パーツの開発についても、トライアルでは着々と準備を進めているようだ。

現状では1.8ℓを実際に購入し、今後のチューニングの方向性を模索している最中だが、牧原さん曰く「基本的にはNAでやろうと思っている」とのこと。先に述べたエアロパーツとともに、今後のトライアル独自の1.8ℓ用エンジン・パーツの出来にもかなりの期待が持てそうだ。



牧原道夫
常にユーザーの期待に沿った商品開発を心掛けているトライアル・牧原さん。そのモットーは、やはり「楽しさ」。この言葉を聞いたクルマ作りだ。今回の牧原さんの話からは、ロードスターに対する思い入れが感じられた。

